

コントロールユニット model HCD□H-Wとカップリングバルブ model VCBで複動クランプの制御・操作を行ないます。



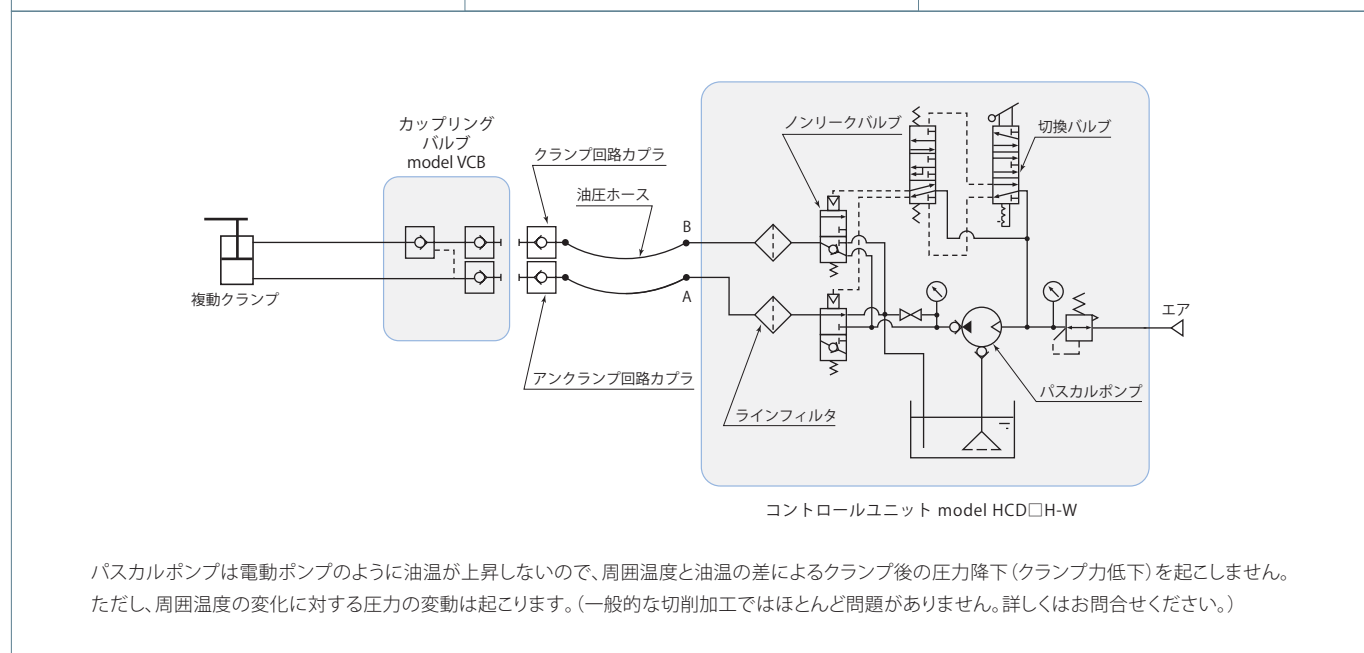
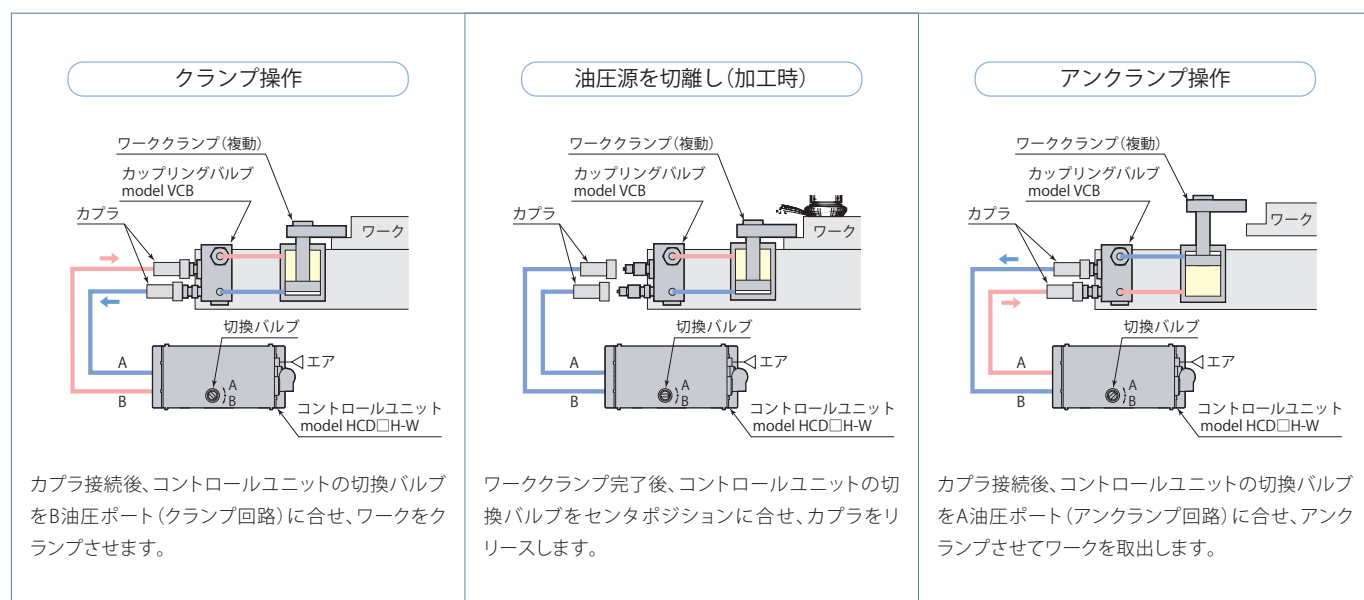
コントロールユニット model **HCD□H-W**
→168ページ



カップリングバルブ model **VCB**
→156・157ページ

コントロールユニット (HCD□H-W) はパスカルポンプによりエアで油圧を発生させ、クランプ (設定) 圧に達すると動作が停止し、油圧力を保持します。

カップリングバルブ (VCB) は複動クランプとコントロールユニット間に設置し、油圧カブラによりコントロールユニットとカップリングバルブを切離すことができます。カップリングバルブのノンリーク性能は完全な圧力シールを行ないます。

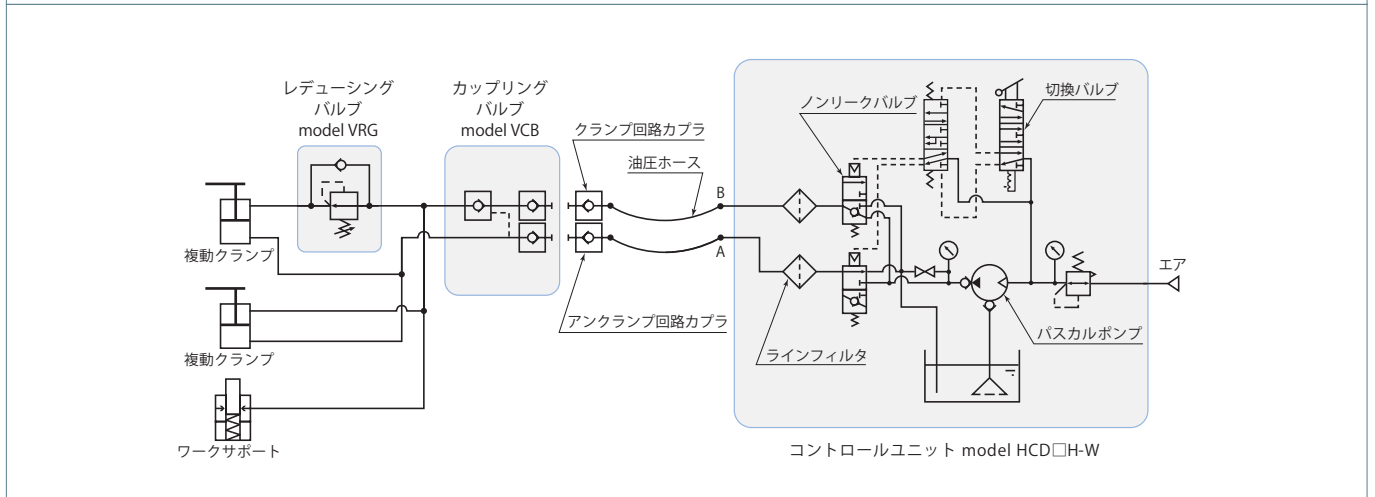
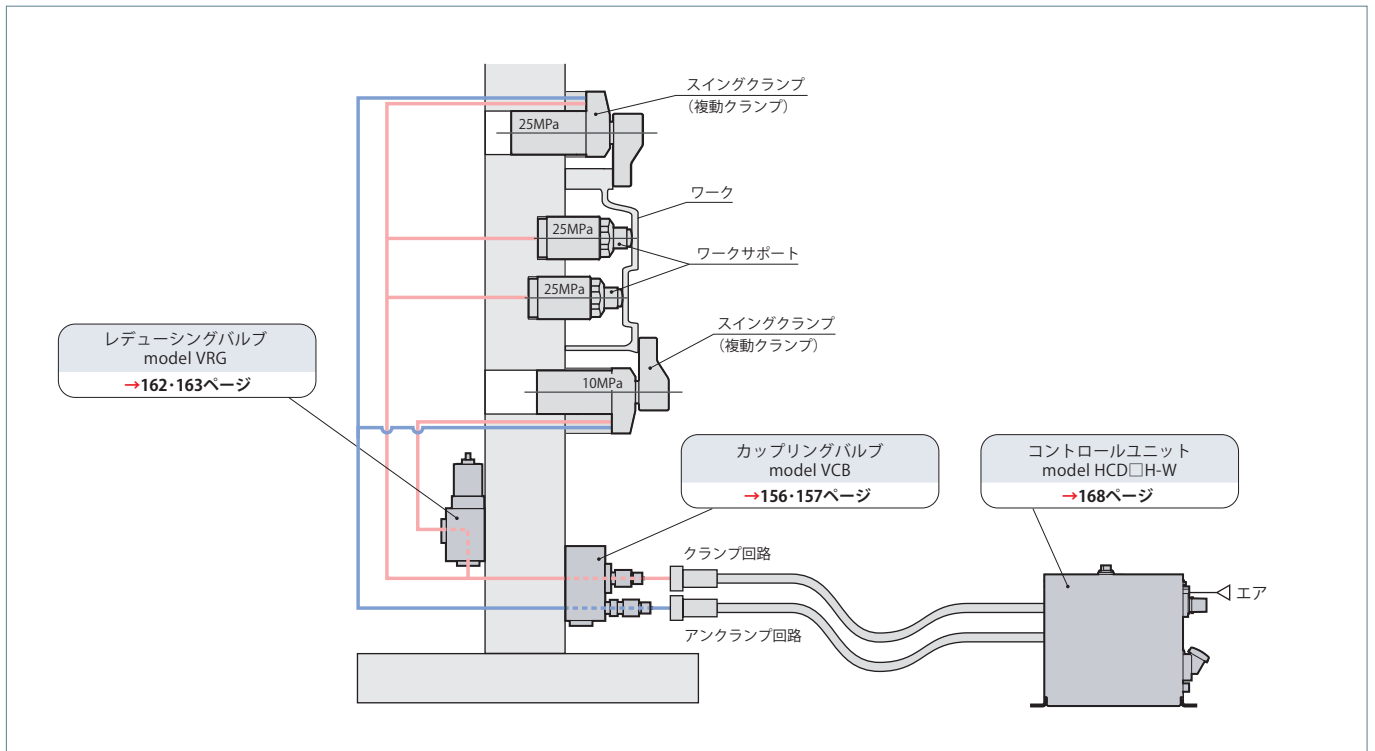


パスカルポンプは電動ポンプのように油温が上昇しないので、周囲温度と油温の差によるクランプ後の圧力降下 (クランプ力低下) を起こしません。ただし、周囲温度の変化に対する圧力の変動は起こります。(一般的な切削加工ではほとんど問題がありません。詳しくはお問合せください。)



レデュースバルブ model VRG
→162・163ページ

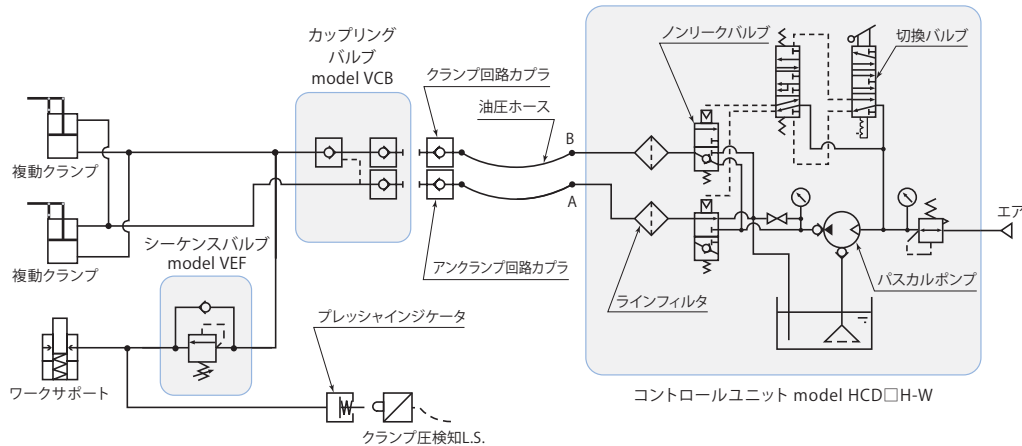
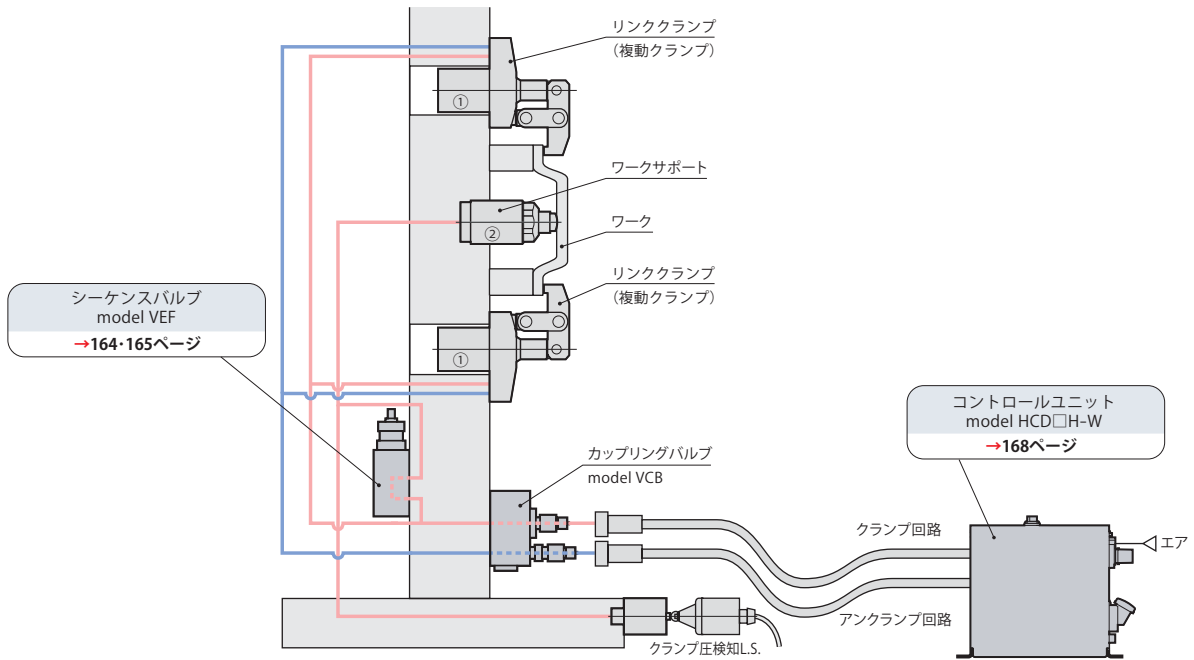
回路内油圧を部分的に減圧させることができます。
(例) ワークサポートが 25 MPa (1次圧) の時に
ワーククランプは 10 MPaに減圧されます。





シーケンスバルブ model VEF
→164・165ページ

同一回路上のクランプを順次作動させます。
 (例) ①ワーククランプのクランプ動作後
 ②ワークサポートをロック動作させます。



コントロールシステム



パイロットチェックバルブ model **VCP**
→158ページ



アキュムレータ model **WPC**
→166・167ページ

油圧ユニットの休止時や油圧源との切離し時にクランプの油圧を完全に保持し、ワークの落下やクランプの緩みを防止します。

油圧源との切離し後、温度変化による回路圧変動を抑えます。

